

# Worldwide Friendship

★★★ 第18回 ★★★  
外国人日本語スピーチコンテスト開催

## 外国人日本語スピーチコンテスト

催 催：太田中央ライオンズクラブ、太田市国際交流協会  
太田市国際連絡協議会



ペルーダンス「マリネラ」



優秀賞  
ナジャル・サイブル  
(インドネシア出身)



優秀賞  
マーライ  
馬 蕾  
(中国出身)



平成27年3月1日（日）、太田市学習文化センター視聴覚ホールにて第18回外国人日本語スピーチコンテストが太田中央ライオンズクラブ・太田市国際交流協会の主催、太田市国際連絡協議会の共催、太田商工会議所・（財）群馬県観光物産国際協会・太田ユネスコ協会・国際ソロブチミスト太田・上毛新聞社の後援で開催されました。

今年は、3カ国（中国・インドネシア・コロンビア）8人の外国人の皆さんのが日本での生活を通じて体験したことや感じたこと、伝えたいことを多くの来場者の方々の前で発表しました。日頃、日本語の勉強をされているとあって、皆さん素晴らしいスピーチでした。

また、アトラクションとして、グルーポKazokuによるペルーダンスの「マリネラ」が披露され、来場者の方々から拍手喝采を浴びていました。

こうした機会を通じて、今後多くの方々に日本で暮らしている外国人の方の思いが伝わり、地域での相互理解が深まってゆくことを期待します。

## HEAD LINE

- 1 第18回外国人日本語スピーチコンテスト開催
- 2 第18回外国人日本語スピーチコンテスト(最優秀賞)
- 3 2014太田スポーツ祭で国際交流広場開催
- 4 第23回太田国際ふれあいパーティー開催
- 5 EASビタゴラス学校で救命救急の講習を開催
- 6 ザ・フレンド・シップ・フォース・オブ・太田群馬がドイツ・コトブスクラブ受入
- 7 災害時言語ボランティア養成講座&救命救急講習開催
- 8 太田市合併10周年記念事業で姉妹都市提携30年
- 9 の国際姉妹都市バーバンク市親善交流団派遣
- 10 アジアからの留学生と交流
- 11 初級ポルトガル語講座開催
- 12 デイリー・イングリッシュ（英会話講座）開催
- 13 初級スペイン語講座開催
- 14 太田日本語教室あゆみの会受講生「世界の料理教室」
- 15 初級韓国語講座開催
- 16 日本語ボランティア講師研修講座（初級・中級）開催
- 17 Voice to Voice

## 第18回外国人日本語スピーチコンテスト

## 最優秀賞

出場者の皆さん、日本語のレベルがとても高く、日頃からしっかりと勉強していることが伺えました。短い準備期間の中、全員が勉強の成果を十分に發揮し、素晴らしいスピーチを発表されました。ここに、今年度最優秀賞に輝いた太田日本語教室あゆみの会受講生のムハンマド・ジャラルディンさんのスピーチを紹介します。

## インドネシア人の日本観と私を成長させる国「日本」

皆さんこんにちは、私は海外研修生として、インドネシアから来ました「ムハンマド・ジャラルディン」です。よろしくお願ひします。

私は、海外研修生として、日本に来るまでは「日本について」深い知識を持っていませんでした。でも、世界中の大国、日本ですから少しの知識は持っていました。

では、どのくらいの知識かといいますと、一つには「日本とインドネシアは深い友好関係にあること」、二つ目は「経済面で大事な貿易相手国であること」、三つ目は人の交流が盛んで日本から「観光地、バリ島へ」 + 「ビジネスマン」を含めると「1年間に約44万人」の日本人が訪れており、その中で「南国バリを楽しむ人」また「インドネシア発展の仕事に励んでいる人」に分けられます。

一方、インドネシアからの日本へは研修生、留学生、看護師、介護士で約13万人が来ており、今後高齢化社会の日本には「看護師、介護士」の人たちが増えるかもしれません。この話はインドネシアにいる私の姉も介護士を希望していますが、まだ決まっておりません。

また、身近な話ですが町を走る「自動車、バイク、電化製品」など「故障がない」「サービスが良いこと」でほとんどがメイド・イン・ジャパンです。ブランドですと「トヨタ、ニッサン、ヤマハ、ソニー、パナソニック」などテレビコマーシャルをはじめ、広告看板もいたるところで目につきます。

また、味の素、ヤクルト、セブンイレブン、牛丼など、毎日の生活に溶け込んだ日本食品が豊富であり、皆さんがその味に満足しているようです。さらに、アニメ、マンガ、などのテレビ番組も日本の物が多く、「親しい国、日本」を伝える役割は大きいと思います。

では、なぜ私が「日本研修を希望」したかは、ある先輩が日本での研修が終わり帰国後日本系の企業に入社、マネージャー、通訳として活躍し、成功している事を知ったからです。そこですぐに先輩からの研修体験を直接聞き、考えた末同じ道を進むことを決めました。

その中で先輩が強く話したことは、日本研修はただ単に日本語を勉強し、働き、お金を稼げばよいということではない「研修3年間は日本人になり日本を学ぶことだ」との教えでした。その教えは仕事の技術は当然の事、日本人が持つ「優秀さ、強さ」を徹底的に学ぶことの大しさでした。その1点目は礼儀正しいこと相手に誠心誠意を示すこと。2点目は勤勉で規律を守ること、何事にもまじめで約束を果たすこと。3点目は物事を本気でやり遂げること、どんなことでも熱心に取り組むこと。その他を含め、「日本人の得意事」を数多く学べということでした。そして、現在研修中の私は「働いている時」「遊んでいる時」「人と出会った時」「勉強の時」を常に意識して実践しており、自分の成長を少しづつ自覚している毎日です。

最後に紹介した先輩は第13回スピーチコンテストに参加し、その準備と練習が自分を大きく成長させたと話していました。そしてまた熱心に指導してくれたあゆみの会の先生方には「本当にありがとうございました」を伝えて欲しいとの事でした。以上です。ご清聴ありがとうございました。



最優秀賞  
ムハンマド・ジャラルディン  
(インドネシア出身)

## 2014太田スポレク祭で国際交流広場開催

平成26年10月25日（土）・26日（日）の2日間、太田スポレク祭会場において国際交流広場を開催しました。両日とも秋晴れの気持ちの良い天気の中で、国際交流協会の活動に携わっているボランティア団体や外国人市民の皆さんがブラジルのソーセージや牛肉の串焼きシュラスコ、ペルーの牛の心臓の串焼きアンティクーチョなどの販売を行いました。来場者は炭火で焼くおいしい匂いに誘われ、どのブースも大いにぎわいました。



関東学園大学のベトナム人留学生

ブラジル人学校EAS ピタゴラス学校



ザ・フレンド・シップ  
フォース・オブ太田群馬



太田日本語教室あゆみの会



ペルー人のグルーポ Kazoku

## 第23回太田国際ふれあいパーティー開催

太田市の国際交流の輪をより多くの市民に広げるとともに外国の方々と相互理解を深めることを目的として、平成26年12月7日（日）にマリエール太田で太田国際ふれあいパーティーを開催しました。今年で23回目となりましたが、15ヶ国214人が来場し、ペルー舞踊やブラジルの子ども達によるダンスを楽しみました。今回はじんけんを使った自己紹介ゲームも行い、国籍や年齢を問わず多くの人が交流を楽しみました。



ペルー舞踊「アンデスの踊り」



ペルー舞踊「マリネラ」



ポルトガル語の会の子供たちによる  
創作ダンス



おおたん☆Girlsのみなさんとみんなで八木節



みんなでゲーム

## E A Sピタゴラス学校で救命救急の講習を開催

平成26年10月1日（水）、東部消防署の協力の下、太田市主催救命救急講習が開催され、高校生と教員35人が参加しました。講習では心肺蘇生法とAEDの取り扱い方を学習し、多くの生徒が救命救急講習を受けたのが初めてであったこともあり、積極的な質問が飛び交い、有意義な講習となりました。



心肺蘇生法を体験



AEDの操作体験



## ザ・フレンド・シップ・フォース・オブ太田群馬が ドイツ・コトブスクラブ受入

平成26年9月28日(日)から10月4日(土)の間、ザ・フレンド・シップ・フォース・オブ太田群馬がドイツのコトブスクラブのホームステイ受入れを行いました。訪問団の9人は、清水市長を表敬訪問したほか日光で華厳の滝や東照宮を見学するなど太田市での滞在を満喫し、市民レベルでの国際交流活動が行われました。



太田市長を表敬訪問



議場を見学

## 災害時言語ボランティア養成講座＆救命救急講習開催

平成26年10月19日（日）、東部消防署において災害時言語ボランティアを対象に災害時言語ボランティア養成講座＆救命救急講習が太田市主催で開催されました。午前中はAEDと心肺蘇生法について、午後は言語ボランティアとしての心構えなどを学びました。養成講座では講師に仙台国際交流協会の菊池哲佳氏を迎え、東日本大震災から考える言語ボランティアの役割と心構えについて講義をいただき、ワークショップも行われました。

興味のある方はぜひ災害時言語ボランティアに登録して下さい。

<http://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu/01news/volunteer.html>



心肺蘇生法を学ぶ



ワークショップの様子